予 算 審 査 特 別 委 員 会
令和6年3月12日(火)
午前9時30分開議

委員定数 8名

出席委員 8名

岡 弘悟	梅本 知江
板橋 真弓	高本 勝次
堀内 和久	田中 和仁
土井裕美子	石橋 英和

他に 議長 森下 伸吾 副議長 岡本 安弘

会議に付した事件

1. 議案第13号 令和6年度橋本市一般会計予算について
2. 議案第14号 令和6年度橋本市国民健康保険特別会計予算について
3. 議案第15号 令和6年度橋本市駐車場事業特別会計予算について
4. 議案第16号 令和6年度橋本市墓園事業特別会計予算について
5. 議案第17号 令和6年度橋本市介護保険特別会計予算について
6. 議案第18号 令和6年度橋本市後期高齢者医療特別会計予算について
7. 議案第19号 令和6年度橋本市工業団地造成事業特別会計予算について
8. 議案第20号 令和6年度橋本市水道事業会計予算について
9. 議案第21号 令和6年度橋本市下水道事業会計予算について
10. 議案第22号 令和6年度橋本市病院事業会計予算について

説明員

市長	平木 哲朗	副市長	小原 秀紀
病院事業管理者	古川 健一	総合政策部長	土井加奈子
政策企画課長	中岡 勝則	総務部長	井上 稔章
財政課長	三浦 康広	経済推進部長	北岡 慶久
建設部長	西前 克彦	上下水道部長	堤 健
水道経営室長	寺田 嘉文	浄水場長	久保 泰造
水道施設課長	森下 弘茂	健康福祉部長	久保 雅裕
病院事務局長	池之内正行	病院総務課長	藤本 昇三
訪問看護事務長	坂本 安弘	会計管理者	大岡 久子

その他関係職員

職務のため出席した者

議会事務局長 福井 直記
書 記 諸田 泰己

事務局次長 笹山 奨

(午前9時30分 開議)

○委員長(岡 弘悟君) おはようございます。ただ今の出席委員は8人で、全員であります。

これより、令和6年度予算審査特別委員会を開きます。

それでは、これより審査に入ります。

1 議案第22号 令和6年度橋本市病院事業会計予算について

○委員長(岡 弘悟君) 議案第22号 令和6年度橋本市病院事業会計予算についてを議題といたします。

これより質疑を行います。全般について行います。質疑ありませんか。

板橋委員。

○委員(板橋真弓君) おはようございます。ページ数が、553ページの一番下の国・県補助金のところの防災訓練等参加事業補助金6万8,000円です。災害拠点病院として、昨年度なんですけど、3日間の水確保のために600トンの受水槽を工事されたと思うんですけども、災害に対して備えということで、入院患者さん等の避難体制とか、災害拠点病院としての受け入れの計画みたいなものを教えてください。

○委員長(岡 弘悟君) 病院総務課長。

○病院総務課長(藤本昇三君) 皆さん、おはようございます。板橋議員さんのご質問にお答えさせていただきたいと思います。

今回の国・県補助金につきましては、こちら、すみません。DMATの実習という出張というんですか、その補助金になります。自主的な病院の防災訓練というわけではございません。

もう一つ、受水槽ですね、作らせていただきました。昨年度当初予算ではですね、600トン相当というお話をさせていただいたんですけども、再度、令和5年度になりました。ちょっと精査させていただきました。うえで、現在400トンの受水槽を今

年度末に設置する予定で、今、竣工を目指しておるところでございます。

あと、防災訓練につきましては、毎年ですね、橋本圏域、紀和病院・山本病院・紀北分院さんも含めた、4病院を含めて防災フォーラムというのを実施しております。コロナ禍であったので、基本的にはWebでの対応をしていたんですけども、今年につきましては、看護師さんの卵、看護学校さんの学生さんも来ていただいたうえで、救急車も使ったうえで防災訓練をさせていただいております。今年につきましては、まだちょっと計画は立っていないんですけども、そういう形で防災訓練のほう、また実施していきたいと考えておる次第でございます。

○委員長(岡 弘悟君) 病院事務局長。

○病院事務局長(池之内正行君) ちょっと補足なんですけども、受け入れの計画の部分なんですけども、基本的に災害発災時、その後の患者さんの受け入れに関しましては、県のほうで、保健所のほうが、この橋本圏域のほうで組織のほう立ち上げていただきまして、そこで、この圏域内の患者さんですね、被災された方々の状況を把握して、各病院のほうに調整のほうを図っていくというふうな形になります。当然、県のほうの災対本部で、いろんなことからDMATが入ってきます。DMATの受け入れに関しては、当院のほうで災害拠点病院となっておりますので、当院のほうに入っていくような形になるんですけども、基本的に患者さんの受け入れに関しましては、県のほうで主導をしていただきながら受け入れ体制をとっていくというふうな形の流れになってくると思います。

○委員長(岡 弘悟君) 大丈夫ですか。

ほかにありませんか。

田中委員。

○委員(田中和仁君) おはようございます。お願いします。訪問看護についてお尋ねします。ちょっとこれ、勉強で申し訳ないんですけども。予算ベースでですね、赤字で組まれてるんですけども、その理由っていうのは、何でしょうか。

○委員長(岡 弘悟君) 訪問看護事務長。

○訪問看護事務長（坂本安弘君）お答えをいたします。

まず、企業会計予算ですので、通常の会計予算等と違いまして、収入・収支がトントンってような予算の組み方ではなしに、決算を主に置いた予算を組みます。予算計上上、歳入については、できるだけ少なく組ませていただきます。そこから増える分には問題ないんで、歳入については小さく、歳出については大きく予算を組んでおく必要がある。何が出てくるかわからないということで組ませていただいておって、毎年、ここ数年、赤字の予算を計上させていただいています。ただ、去年、令和5年度の最終決算、間もなく出てきますけども、令和5年度にしても、令和4年度、令和3年度にしても、最終的には黒字で推移しております。

以上です。

○委員長（岡 弘悟君）田中委員。

○委員（田中和仁君）ありがとうございます。よくわかりました。あともう一点ですね、訪問看護のカバー地域が五條、それから高野町・九度山町・橋本、かなり広域になってるんですけども、そちらになるとですね、特定地域加算っていうのができるのかなって。申請となると思うんですけども、いかがでしょうか。

○委員長（岡 弘悟君）訪問看護事務長。

○訪問看護事務長（坂本安弘君）一応、事業の実施地域として、橋本を含め、九度山・かつらぎ、それから五條市等、指定地域として指定していますので、特定地域の加算についてはございません。

以上です。

○委員長（岡 弘悟君）田中委員。

○委員（田中和仁君）申請の余地あるかなという意味で伺ったんですけど、いかがでしょうか。

○委員長（岡 弘悟君）訪問看護事務長。

○訪問看護事務長（坂本安弘君）ちょっと、もうちょっと少し私も勉強させていただきたいと思いますが、今のところ、本訪問看護ステーションとしての指定地域としての

範囲での活動ですので、難しいのではないかとこのように考えております。

○委員（田中和仁君）わかりました。

○委員長（岡 弘悟君）ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり。）

○委員長（岡 弘悟君）ないようですので、これをもって質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。討論する方ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり。）

○委員長（岡 弘悟君）討論がありませんので、討論を終結いたします。

これより、議案第22号 令和6年度橋本市病院事業会計予算について を採決いたします。

本案は原案のとおり可決すべきものと決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり。）

○委員長（岡 弘悟君）ご異議がありませんので、本案は原案のとおり可決すべきものと決しました。

2 議案第20号 令和6年度橋本市水道事業会計予算について

○委員長（岡 弘悟君）次に、議案第20号 令和6年度橋本市水道事業会計予算について を議題といたします。

これより質疑を行います。全般について行います。質疑ありませんか。

高本委員。

○委員（高本勝次君）おはようございます。457ページのところで、8委託料のところなんですけども。そこで、浄水場維持管理委託料。今回、大幅に増えてるということなんですけども、委託がしたという感じでやったのかなと思いますが、ちょっと説明をお願いします。

○委員長（岡 弘悟君）浄水場長。

○浄水場長（久保泰造君）委託料の分について説明させていただきます。令和6年度から債務負担行為としまして、すみません。失礼します。浄水場の運転管理、維持管理のオペ

レート、運転管理が開始されます。1系浄水処理設備の更新工事が終わりました、令和6年度から運転管理が開始されます。この費用が、令和6年度で1億863万6,000円の費用が発生することになります。

○委員長（岡 弘悟君） 高本委員、よろしいですか。

ほかにございませんか。

高本委員。

○委員（高本勝次君） そしたら、ちょっと浄水場の管理が委託ということを知ったんですけども、もうすべて管理が委託見てるように変わってしまったこと、状況をお聞きしたいんですけど、そういう仕組みになったんですかね。

○委員長（岡 弘悟君） 浄水場長。

○浄水場長（久保泰造君） 今現在、職員で昼間の運転管理と場外施設の点検なんかを行っております。これらすべてを委託業者が点検・整備に回るような形になってきます。

○委員長（岡 弘悟君） 今後すべては委託になるということよろしいですか。

○浄水場長（久保泰造君） すべてではございません。

○委員長（岡 弘悟君） 高本委員、よろしいですか。

ほかにございませんか。

高本委員。

○委員（高本勝次君） お聞きしたいのは、値上げ当時に審議会ができたと思うんですけども、水道料金が高いということで、もうどこ行っても、どなたも感じてるのはわかっていると思うんですけど、水道料金高いということで、どないかならんのかっていうことが、もう行く先々で聞きますんやけども。それでね、水道事業計画の見直しっちゅうか、そんな言葉、室長どんなふうな仕組みで、されてるのか、されてないのか。そういう意見がすごく聞くんです。だから見直し、常に見直しながら検討して、また新たな方針を変えてきたり、変えていきながらとかいうようなシステムを作ったら、また市民の声が反映されていくような気が

するんですけど。今現在、一つは審議会もなくなっただけですかね。それと、市民の声を日常的に取り入れていくような仕組みができないものかお聞きしたい。

○委員長（岡 弘悟君） 現状、審議会はどうか、まずご説明願います。

水道経営室長。

○水道経営室長（寺田嘉文君） 現在、上下水道の審議会というのはございます。委員さんについては、今、任期切れておりまして、次の見直しの時にまた諮っていきたいと考えております。

○委員長（岡 弘悟君） 次に、事業の見直しについて、どういうふうになっているのかっていうのを教えてください。

水道施設課長。

○水道施設課長（森下弘茂君） 9月議会のほうで再構築計画の見直しっていうので、ご報告させていただいております。一旦、再構築計画を、以前、195億ほどで立ててあったんですけども。管路の更新計画を大きく見直させていただきまして、それは基幹管路をすべて更新するっていうような、全数をやり直すっていう形で計画を立てたんですけども、その辺の見直しの、新技術が出てきましたんで、耐震のできていない管路のみを見直し、やり直すっていうような方針に変えてましてね、大きく計画を見直させていただいております。その都度都度、いろんな技術が開発されていく中で、今後も見直しをかけていきたいと考えております。

○委員長（岡 弘悟君） それによって、今後の水道料金の見直しは。

水道経営室長。

○水道経営室長（寺田嘉文君） 水道料金につきましては、先日報告させていただいた状況では、令和9年度を目処に改定するかどうかの検討を進めたいと思いますので、令和7年度、8年度ごろに審議会ということで、見直しするかどうか、検討を進めていきたいと思っております。

以上です。

○委員長（岡 弘悟君） 高本委員、よろしいですか。

ほかにございませんか。

田中委員。

○委員（田中和仁君） お願いします。大滝ダムについて一点お伺いします。ダムの使用権っていうんですかね、減価償却っていうのは、減価償却なんで、一定の割合で減っていくかなっていうのはわかるんですけども、465 ページの上から2つ目の17負担金、大滝ダム維持管理負担金っていうのがあるんですね、2,755 万円。これの金額の経緯というか、どういった機関でこれが決まっているかっていうのを教えてくださいいただけますか。

○委員長（岡 弘悟君） 水道経営室長補佐。

○水道経営室長補佐（藤岡竜也君） こちらの維持管理負担金なんですけれども、毎年国交省のほうから、その年度の事業計画というのを説明をしに来てくれるんですが、その費用の全体のうちの橋本市が持つてる割合分の負担ということで、毎年度の負担金の額が決まります。もちろん、事業費が固まりましたら精算ということで、次の年もしくは翌々年度の負担金から差し引きがなされると、そういうシステムになっております。

以上です。

○委員長（岡 弘悟君） よろしいですか。

石橋委員。

○委員（石橋英和君） おはようございます。能登半島の地震でね、水道の復旧がなかなか進んでないのを見てゾッとするんですけども、うちも他人事ではないんだろうって気がします。

先ほど、高本議員の質問に対する説明で、耐震が弱い管路に関して、今までの計画を新しい技術ができてきたので、それに乗り換える計画ですっていうご説明だったんですけども、当初の耐震の弱い管路のやり替えるのと、新しい技術に変えることで必要経費は、その説明をお願いします。

○委員長（岡 弘悟君） 水道施設課長。

○水道施設課長（森下弘茂君） お答えします。見直しによって、金額が当初、管路の見直しをかけない金額が約 195 億でした。

管路のやり替えっていうので見直したところですね、173 億っていうような形で、方針計画はちょっと全体的に減になったということで、管路が大きく下がったっていうことになります。

○委員長（岡 弘悟君） 石橋委員。

○委員（石橋英和君） こういうのはね、日進月歩で新しい技術なり新しい製品っていうのは出てくると思うんです。また出てきてくれるのありがたいんですけども、いつにターゲットを絞って計画を進めていくかっていうのも、なかなか悩むところだろうとは思いますが、今の、その採用しようとしている新しい技術っていうのは、今までよく、更新という言葉はおかしいかな。その技術革新がしょっちゅうあったような部分での新しいやり方なのか。もう、これでやろうと決めれば、将来的にはそんなに変わっていかないだろうっていう見通しのもとに、それでやろうということなんですか。

○委員長（岡 弘悟君） 水道施設課長。

○水道施設課長（森下弘茂君） 技術は、日々、新しい技術、毎年、新技術っていうものが、今盛んに開発されております。その中で、やはり技術、いろいろ検証しながらですね、橋本市に取り入れていけるもんかどうかっていうのを検討しながら、今後も進めていきたいと考えております。

○委員長（岡 弘悟君） 上下水道部長

○上下水道部長（堤 健君） すみません。

補足です。

今、施設課長おっしゃった新技術なんですけども、水道管自体が土の中に埋もれてる。だから、どんなけ悪くなってるか上から見てもわからんっていう状況の中で、いわゆる AI とか、いろんな土質状況とか、そういうのを鑑みてですね、老朽化を判断していこうっていうのが、いわゆる新技術っていう説明をさせていただいたところでございます。それまでの計画につきましては、ある程度年数が経ってきたら、直して更新していきましょっていうところでしたので、その辺が大きく変わったと。もともと 90 億ほど管路の更新計画を 20 年ほどでやる予定やったんですけども、

そちらは40億ほどに抑えることができた。ただ、今、インフレとか物価高騰が進んでますので、結局ですね、196億が173億にしか下げることができへんだっちは、そういう影響があつてのことでございます。以上です。

○委員長（岡 弘悟君）石橋委員。

○委員（石橋英和君）能登半島の人たちのテレビのインタビュー聞いてると、水が来ないっていうのがね、本当に必死になって、必死じゃない、切実に必死に訴えておられますね。だから、本当にこの地域が大規模地震っていうのがね、もういつ来るかわからん状態で、水道に関しては何とか少ない被害であつて欲しいとは思ふものの、やはりかなり老朽管も抱えてて、だからその辺、水道に携わっていただいている皆さん方ね、技術の研究であるとか、本当に市民を救う意味で、水道には今後とも頑張っていって欲しいと思います。

これは、要望でございます。

○委員長（岡 弘悟君）上下水道部長

○上下水道部長（堤 健君）今の地震のところでございますけれども、確かに能登半島すごい被害受けて、今でもうちの職員が援助しに行ったりしとるんですけども、土質が相当悪いっていう状況もあつて、沿岸沿いで液状化しやすい土地であるっていうことも起因してるのかなというふうには思っています。我々も今、実際、更新全部していくのに相当時間かかりますんで、それよりもまずは被災した時に、どのように受援していただくのか。そしていち早く住民のもとに水を運ぶことは、どういうふうにしていったらいいんかっていうところを研究しているところでございますので、またそれが事前計画で次第ですね、また議会のほうにも報告したいと思っております。

以上です。

○委員長（岡 弘悟君）ほかにございせんか。

高本委員。

○委員（高本勝次君）ちょっと一つお聞きしたいんですけども。

水源が結局、現在一つになってるという関係で、過去のこと考えたら違うんですけども、大震災起きた時に、対応が、これは以前の場所と違うんで、水源に二つあつた時と違うんで、その辺はちょっとどのように考えたら。

○委員長（岡 弘悟君）水道施設課長。

○水道施設課長（森下弘茂君）おっしゃるとおり、水源が一つになってるんですけども、浄水場機能が、もし震災で機能しなくなった時は、近隣で浄水場の機能が生きてるところから給水車のほうで、避難所や拠点病院に運んでもらうしかないのかなつて、今のところ考えております。浄水場機能が生きてた場合なんですけども、日本水道協会を通じてですね、能登半島でも全国から給水車が集まっているように、給水活動の応援活動を支援をお願いするっていうような形になってくると思います。

以上です。

○委員長（岡 弘悟君）上下水道部長。

○上下水道部長（堤 健君）今、能登、うち能登町、災害支援行つとんでですけども。あそこ、確か4か所か5か所浄水場あるんですけども、逆に難儀してます。その系統でなければ水が取水できへんっていうところがあるんで、差が出てくるというか、そういう問題もありますので、浄水場はやっぱ少ないほうがいいというふうに、我々は考えておるところでございます。

○委員長（岡 弘悟君）よろしいですか。

ほかにございせんか。

堀内委員。

○委員（堀内和久君）すみません。さっきの石橋先生の時なんですけども。日々新しい技術が進化して研究していただいとる。ありがたいことやと思うんですけど。さっきの部長の答弁で、液状化っていう言葉出て、結局は、あの辺の地域がそういう災害になったらそういうことになるというので、そして、技術の進歩はありがたいですけど、この辺の地質、うち橋本市って紀の川があつて、東西南北地域性っていうか、地質が違うと思うんです。その辺がね、だから、技術の進歩で地震に対応できるやわらかいパイプ、折れないパイプ

であったりとか、いろんなことしてくれと思うんですけども、液状化したら折れるもくそもへったくれもない。上がってくるんですよね。で、使えなくなるみたいな感じやと思うんですけど。その辺の土の地質の話っていうのは、どれぐらい調査されとるんか、お伺いいたしたいと思います。

○委員長（岡 弘悟君）上下水道部長。

○上下水道部長（堤 健君）もう皆さんご存じやと思いますけども、ここ橋本市のど真ん中に紀の川流れてますんで、実際、紀の川自体は、もう橋本市自体が紀の川の地質でございます。その中で、特に液状化を起こしやすい地域っていうのは、やっぱりハザードマップで浸かるような地域っていうのは、やっぱり液状化起こしやすいところではございますけども、それ以外のところっていうのは、ちょっと話が逸れるんですけども、下水である程度ね、旧の橋本市の中で、液状化マップって作ったことあるんですけども、ほとんどなかった。ただし、紀の川のところで近い、ハザードで浸かるようなところっていうのは、ある程度液状化を起こします。

ただ、水道の管にしましても、今新しい入れてる管に関しましては、非常にその動きに追随性があるというか、ついて行くんですよ、いろんな動きがあっても。だから水道被害は少ないのかなとは、我々は思っています。ただし、受援せなあかんようになるっっちゃうのも間違いないんで、それは怠らんようにというふうには考えておるところでございます。

○委員長（岡 弘悟君）よろしいですか。

堀内委員。

○委員（堀内和久君）もう一個だけ、すみません。川があるので、橋本の橋があります。ほんだらまあ、送水管の話になるんですけど、この辺はね、和歌山でもまだ記憶に新しい、それに関係した次の管、一回、一般質問したんで似たような感じやと思うんですけど、それに対する対応等はいかがででしょうか。

○委員長（岡 弘悟君）水道施設課長。

○水道施設課長（森下弘茂君）紀の川以南のほうに、今現在、紀の川用水橋、赤塚のほうに、紀の川水管橋、用水橋に添架した管で、赤塚の配水池に上げてるんですけども。

今年なんですけども、県のほうで整備した橋があります。恋野橋のほう、新しい恋野橋なんですけども、そこに水道管が添架してるんですけども、もしその紀の川水管橋のほうに崩落しても、恋野橋のほうを、今度は送水管として、バイパス管として使えるような、切り換えを行える工事を今年度させたいしておりますので、給水制限は行わなあかんかもわかりませんが、一旦は赤塚へ送るルートも、もう1ルート確保したっていう形になっております。

○委員長（岡 弘悟君）ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり。）

○委員長（岡 弘悟君）質疑がありませんので、質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。討論する方ありませんか。

高本委員。

○委員（高本勝次君）橋本市水道事業会計予算に反対の立場で討論させていただきます。

本市の水道事業は、浄水場の更新、管路の老朽化対策や耐震化等々、事業計画に基づいて事業が進められております。しかし、市民からは、和歌山県下で見ても高い水道料金に対して、何とかならないかという、どこの地域を尋ねてもそういう声をよく聞きます。企業会計であっても、やっぱり公営企業でありますんで、市民にとっては命の水であります。市民から見れば、どうしても水道事業計画の最大限の見直しの努力ができないものかと言われております。こういう立場で、そのことをお聞きして、反対討論といたしたいと思いません。よろしくをお願いします。

○委員長（岡 弘悟君）次に、賛成の立場で討論する方ございませんか。

堀内委員。

○委員（堀内和久君）私は、賛成の立場で討論させていただきます。

確かに、水道料金は高いと思います。いつも部長と喧々諤々お話しさせていただくんですけども、もう橋本市が高いのは、今に始まったことではなく、それ以上の行政サービス、審議会を筆頭に、当職員はよく勉強しています。いかにしたら水道を安くできるか、安心・安全に運べるか、これは県下9市だけではなく、和歌山県内で一番の組織であるという認識をしております。そのうえで、いろんな研究も進んでおりますし、本市の水道は本当に高い高いって言われながらも、和歌山県全体も値段が上がってきております。従いまして、景気も回復して、物価高騰とかいろんなこともあって、給料も高くなって、ぼかしてくるというか普通に見えてくるっていうのが、近い将来必ず見えてくると思います。それは橋本市の水道部局が描いたとおりになってきたという計画のもとでございます。今現在は、水道料金を下げるために一生懸命汗を流していてくれるということと、あとは一般会計の高い水道料金のまちであっても、住んでよかったまち橋本市になるように、一般会計のほうで、しっかりサービスをしていただいているという認識のもとに賛成といたします。

○委員長（岡 弘悟君）ほかにございせんか。

（「なし」と呼ぶ者あり。）

○委員長（岡 弘悟君）討論がありませんので、討論を終結いたします。

これより、議案第20号 令和6年度橋本市水道事業会計予算について を採決いたします。

本案は原案のとおり可決すべきものと決することに賛成の諸君の起立を求めます。

（賛成者起立）

○委員長（岡 弘悟君）起立多数であります。

よって、議案第20号は原案のとおり可決すべきものと決しました。

3 議案第21号 令和6年度橋本市下水道事業会計予算について

○委員長（岡 弘悟君）次に、議案第21号 令和6年度橋本市下水道事業会計予算について を議題といたします。

これより質疑を行います。全般について行います。質疑ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり。）

○委員長（岡 弘悟君）質疑がありませんので、質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。討論する方ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり。）

○委員長（岡 弘悟君）討論がありませんので、討論を終結いたします。

これより、議案第21号 令和6年度橋本市下水道事業会計予算について を採決いたします。

本案は原案のとおり可決すべきものと決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり。）

○委員長（岡 弘悟君）ご異議がありませんので、本案は原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上で、本委員会に付託された案件の審査は終わりました。

なお、委員長報告の作成については、私と副委員長に一任願いたいと思います。

これに、ご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり。）

○委員長（岡 弘悟君）ご異議がありませんので、私と副委員長において作成いたします。

以上で、令和6年度予算審査特別委員会を散会いたします。お疲れさまでした

（午前10時03分 散会）